

まんのう町教育委員会だより

爽 そうふう 風

子どもの健やかな成長を願って

Vol. 27

令和3年【2021】

10月1日 発行



特集 みんな大好き!! おいしい給食

Contents

P.6～7 園・学校ウォッチング
四条小学校・四条こども園

P.8 地域へ出かけよう！
～つながりを深める子どもたち～
P.9 シリーズ「声」

P.10 ホットニュース
P.11 関係機関から

人気の献立ベスト3を発表!!



総合順位



部門別順位 (() 内の数字は得票数)

順位	部門	主 食	肉	魚	野菜等	汁物
1		ココア揚げパン (288)	オリーブ牛のコロコステーキ (185)	ちくわの天ぷら (249)	レンコンチップス (225)	英字マカロニスープ (145)
2		カレーピラフホワイトソースがけ (120)	手作りハンバーグ (171)	かみかみ天ぷら (109)	元気サラダ (159)	コーンスープ (126)
3		ナンとキーマカレー (79)	ポークビーンズ (156)	いいだこの天ぷら (86)	ジャガイモチップス (113)	ビーフシチュー (102)

◆ 学校別にベスト3を見ると、上記以外に様々な献立がランクインしています (○の中の数字は校内での順位)

学校名	主 食	肉	魚	野菜等	汁物
琴南小	②わかめごはん ③きなこ揚げパン ③冷やしうどん ③冷やし中華そば	③オリーブ牛焼肉 ③マカロニグラタン	②さけの塩焼き ②えびかつ	③夏みかんサラダ	③コンソメスープ ③豚汁
長炭小		②オリーブ牛焼肉	②さけのチーズ焼き		①白玉団子のみそ汁
満濃小		②オリーブ牛焼肉	②さけのチーズ焼き		③さつまいものシチュー
四条小	③きなこ揚げパン ③うな丼	①オリーブ牛焼肉	②さけのチーズ焼き	③ポテトサラダ	③コンソメスープ
高篠小	③ピビンパ	①オリーブ牛焼肉	②焼きししゃも		③ふしめん汁
仲南小	③ピビンパ		②焼きししゃも		②豚汁 ③かきたま汁
満濃中	③冷やしうどん	①鶏肉のから揚げ	②いかのさらさ揚げ	③海藻サラダ	

◆ 教職員だけで集計してみると、さらに子どもたちとは違った献立がランクインしています

教職員	主 食	肉	魚	野菜等	汁物
	②豆腐入りドライカレー		②さばのみそ煮	③煮込みおでん	

選択肢になかった献立から



番外編



選択肢は選ばずに、「麦ごはん」と書いた中学生が2名



「手作りハンバーグ」を選んだ横に、「コロッケがNo1です!」と書いた先生が1名

「手作りコロッケ」は、「手作りハンバーグ」と並んで大人気の献立です。一つ一つ手作りで。このように、まんのう町の給食は、調理員が、「子どもたちのために」とできるだけ手作りにこだわり、手間と愛情をかけて作ってくれているのです。

例えば

- さばのみそ煮…たくさんの魚を大きな鍋で煮ると魚が煮崩れるので、他市町ではあまり見かけません。
- グラタン…手間がかかるので、他市町ではあまり見かけません。
- すいとん汁のすいとんや肉団子、ジャム(りんご・いちじく)なども手作りしています。
- 料理に使う野菜やデザートの果物も、カット済みのものはできるだけ使わず、調理場で一つ一つカットしています

これは、自校方式※だからできることです。



町内の児童生徒と教職員に
「好きな献立教えて!アンケート」を
実施しました

【選択肢として挙げた献立の数】

部 門	献立(選択肢)の数
1 主 食	64
2 おかず(肉)	30
3 おかず(魚)	52
4 おかず(野菜等)	88
5 汁 物	42
計	276

【有効回答数】 (複数選択や無回答などを除いた数)

学校名	児童生徒	教職員	計
琴南小	46	11	57
長炭小	92	15	107
満濃南小	178	20	198
四条小	187	19	206
高篠小	137	15	152
仲南小	157	13	170
満濃中	434	16	450
計	1231	109	1340

※ 自校方式
校内の調理場で、調理員が給食を作るシステムのこと ⇨ センター方式

実施方法

令和3年6月28日(月)～7月9日(金)
町内6小学校2～6年生の全児童
満濃中学校の全生徒
町内小中学校に在籍する教職員のうち、毎日給食を食べている者
※ただし、今年度転入した者の中で町外からの転入者まんのう町の給食を4、6月の3か月しか食べていない者は除く
昨年7月～今年6月まで1年間の献立を、主食・おかず(肉)・おかず(魚)・おかず(野菜等)/肉と魚の部門に入らなかったものすべて・汁物の5つの部門に分けて提示し、それぞれの部門の中で1番好きな献立一つだけ選んで○をつけてもらう



子どもたちに人気の献立を家でも作ってみませんか?

2位

主食部門

カレーピラフ ホワイトソースかけ



おかず(肉)部門

3位

ポークビーンズ



材料(4人分)

<カレーピラフ>

米	2合
たまねぎ(みじん切り)	1/2個
バター	6g
★チキンコンソメ	6g
★カレー粉	小さじ1
★塩	小さじ2/3

<ホワイトソース>

◎むきえび(冷凍のものは解凍する)	150g
◎鶏むね肉(1cm角に切る)	80g
◎ベーコン(1cm幅の短冊切り)	4枚(40g)
◎たまねぎ(薄くスライス)	1個(135g)
◎しめじ(石づきを取り除きほぐす)	40g(1パックは約100g)
パセリ(みじん切り)	6g
油	小さじ1
白ワイン	小さじ1
チキンコンソメ	3g
塩	1g
こしょう	少々
水	1.5カップ
牛乳	200g
小麦粉	20g
バター	10g

作り方

<カレーピラフ>

- ① 米を洗い、規定より少し少なめの水を入れる。
- ② バターでみじん切りにしたたまねぎを炒め、★を入れる。
しっかり冷ましてから、①に入れてごはんを炊く。(温かいままの具を入れます、ほちごはんになります)

<ホワイトソース>

- ③ 鍋に油を入れて加熱し、◎を入れ、白ワインをふりかけて炒める。
炒まったら、チキンコンソメ・塩・こしょう・水を加える。
- ④ 別の鍋でホワイトソースを作る。
牛乳を入れる→ 小麦粉をふるって入れる→ 溶く→ 弱火で加熱する→ 小麦粉の匂いがなくなったら、バターを入れる(ホワイトソースの完成) ※バターを溶かしてから小麦粉を入れるより、失敗が少ないです。
- ⑤ ③に④を加え、味を確認する。
- ⑥ 炊きあがった②を盛り付け、ソースをかけ、パセリをちらせば、出来上がり

米を炒めてから炊くと、より本格的になります。

材料(4人分)

乾燥大豆	60g	(水煮大豆を使う場合は150g)
豚もも肉(スライス/食べやすい大きさに切る)	100g	
ベーコン(1cm幅の短冊切り)	3枚(30g)	
白ワイン	小さじ1	
たまねぎ(くし切り)	大1個(200g)	
にんじん(いちよう切り)	1/2本	
じゃがいも(小さめの乱切り)	中2個	
油	大さじ1	
水	1/2カップ	
★チキンコンソメ	3g	
★砂糖	小さじ2	
★塩	ひとつまみ	
★ケチャップ	大さじ2	
★ウスターソース	小さじ2	
粉チーズ	10g	

作り方

- ① 乾燥大豆はさっと洗い、豆の4倍の水量で一晩浸す。(急ぐ場合は、豆を30分ほど水につけ、たっぷりの沸騰した湯でゆでる)
- ② 鍋に油をひき、豚もも肉、ベーコンを炒め、白ワインをふる。
- ③ たまねぎ・にんじん・じゃがいも・大豆を加えてさらに炒め、水を加えて煮立たせる。じゃがいもが柔らかくなったら★を加える。
- ④ 味がなじんだら、ダマにならないように粉チーズを加える。
- ⑤ 味を確認して、盛り付けたら出来上がり

油は、ひまわりオイルでもおいしいです。
パンチをきかせたいときは、豚もも肉・ベーコンを炒めるときに、おろしにんにくで香りを出すといいです。



町内の給食を管理・運営する栄養教諭に聞きました



献立を考えるときに気をつけていることは?

- 旬や季節を感じてもらえるようにする。
- 子どもたちの苦手なものをできるだけ重ならないようにする。
- 地場野菜をまんべんなく取り入れることができるよう、使う頻度を考える。
- 和・洋・中のジャンルをはっきりさせる。

- 色合いや味、栄養などのバランスを考えて、おいしく魅力のある献立にする。
- アレルギーとかかわりから、同じ食材が続かないように気をつける。
- 調理場で安全に作ることができるか考える。
- 教科との関連を考える場合もある。



栄養教諭の立場から、おすすめの献立は?



竹内麻奈未 栄養教諭



辻村方弘 栄養教諭

鶏肉とカシューナッツの揚げ煮

日頃食べる機会の少ないカシューナッツですが、カラッと揚がって甘辛たれが絡んだ鶏肉との組み合わせが絶妙です。
タンパク質をはじめ、ビタミンB1や亜鉛、鉄などたくさんの栄養素もとれて、歯ごたえも楽しめる一品です。



いかと里芋のチリソース

里芋と聞くと和食のイメージがありますが、チリソースにも、とてもよく合います。児童生徒が里芋に対して苦手意識を持っていることが多く、もっとおいしく食べてもらえないかと栄養教諭の研修会で学んだ献立です。
「こんな食べ方もあるんだ」「これなら食べられる」を積み重ねていって、もっと身近な食材に感じてほしいです。



麦ごはん

パンには、バターなど脂質も含まれていますが、ごはんは消化もよく、私は和食(ごはん)を推進したいと思っています。
ご飯だけが残る子やごはんが食べられない子が増えてきています。自分に必要なエネルギーの量を知ってほしいです。



さんまの塩焼き

少しでも、胃をとるのが上手になってもらいたいと思っています。魚をおいしく感じてもらうと嬉しいですね。



郷土料理の献立や讃岐の食材を積極的に取り入れています

あんもち雑煮
いいだこの天ぷら
うどん
ばら寿司・あげもん
ちしやもみ
しょうゆ豆
いりこめし
わけぎ和え
百花の雪花

オリーブ牛
オリーブ地鶏
オリーブハマチ
金時人参
さめきキウイっこ
和三盆糖
ひまわりオイル
おいでまいごはん
など

子どもたちの大好きなデザートも季節や行事を大切にしています

ぜんざい
節分豆
ひなあられ
柏餅
お茶のムース
半夏団子
七夕ゼリー
わらび餅

お月見ゼリー
クリスマスケーキ
お祝いクレープ
(卒業・進級のお祝い)
すだちゼリー
(「すだち」と「巣立ち」をかけている)
など



四条小学校では、なかまごとにも、学習に、学校生活や行事に、運動にチャレンジすることで、自他の頑張りを伸ばし、よきに気づき、自己肯定感を高めたり、なかまとの絆を深めたりすることを目指して、活動に取り組んでいます。

タブレットも生かして 学び合いにチャレンジ

本校では、6年前から子ども同士の学び合いに焦点をあて、授業づくりに取り組んできました。そのため、ペアやグループでなかまごと語り合うことが好きな子どもがたくさんいます。今は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、マスクの着用や換気に配慮しながら、学び合いに取り組んでいます。

昨年度末、文部科学省の「GIGAスクール構想」を受け、本校にも児童一人に一台ずつタブレットが配置されました。



タブレットを積極的に活用して学ぶ

「アサガオの花が2つも咲いたよ。この花をくぐるのとききいて、すごさよ」撮影したアサガオを見せ合い、観察して気づいたことを交流する1年生。



「みんなが楽しめる」「ありがたの会」にするためには、全員ができる、より楽しい遊びを選ばないといけない」

「おにぎり」や「かかれんぼ」などの意見を、画面上で分類したり、思考ツールを使って合意できる方法を考えている3年生。

このようにタブレットのもつ「画像をもとに具体的に話し合えるよさ」や「全員の意見を共有し、書き

なかまと学び合い 支え合い 競い合い チャレンジする 四条小学校

込んだり操作したりできるよさ」を、学び合いに生かす取り組みが見られるようになりました。

つながりを生み出す 新しい取り組みにチャレンジ



一人一人の努力が
つながった瞬間



灯火を囲んで

だるまさんがころんだ!

全校生に
リモートで呼びかける

で、次は、全員が大きな声で挨拶できた登校班を、「朝二元気班」として紹介していきます。毎朝の放送をよく聞いてよーい」

運営する広報委員会の呼びかけに応じて、各委員会の自主的な活動や全校を巻き込む取り組みが進み始めました。

「全校生が学年を越えても仲良くなっている」といふ願いから運営委員会が呼びかけ、6月下旬に始まったのが、「全校生なかまプロジェクト」です。6年生のリードの下、追いかけつや「だるまさんがころんだ」など、みんなが楽しめふれ合う遊びを全校生縦割りの色別班で行いました。運動場や体育館で笑顔いっぱいなかまわり合う子どもたちの姿に、「コロナ禍においても人間関係の輪を自ら広げる意欲と力を、一層培ってほしい」といふ思いを強くしました。

支え合い 競い合う 行事にチャレンジ

昨年度は実施を見合わせた体育祭と宿泊学習。今年度は開催方法を見直し、体育祭はPTAの協力を得ながらライブ配信で、6年生の宿泊学習はデイクャンプとして、それぞれ実施できました。

勝ち負けを越え、笑顔でなかまと競い合う徒競走。力を合わせる喜びにひたる競争遊技。一人一人の努力をつぎぎ、一つの作品に昇華する表現運動。全校生や、画面越しに見る保護者の方々と、ともに体育祭の醍醐味を味わえたことが幸せでした。

「無理に思っただけで、チャレンジしたからできました」

「なかまが支えてくれたから、頑張れました」

デイクャンプでは、消えゆく灯火を見つめながら活動を振り返り、学びを語った一人一人の言葉が記憶に残りました。こうした活動も1年を通して積み上げていきたーと思います。

(※「自己肯定感」：自らの価値や存在意義を肯定できる感情のこと)

「コロナ禍で進化」した運動会

四条こども園では「心も体もいっしょにいきいきと遊びこみ、共に育ちあうこども園」をめざし、「一人一人が主体的に、ものごとにかかわり、そして自分自身がかかわることを大切にしています。子どもたちの「知りたさ」「やりたさ」が十分発揮でき、困難にぶつかっても、みんなで前向きに考え、育ちあうことができるよう支援しています。

子どもたちや保護者にとって、今の年齢の運動会は、一度きり。安心・安全な環境の中、楽しかった」と心に残る運動会を実現したい。子ども同士の交流はなかなかできないけれど、互いを見せ合うことで憧れや親しみの気持ちが高まり、心がつながる場でした。――小学校もこども園も共通の思いでした。

小学校PTAの協力で「ライブ配信運動会」が開催でき、ネット環境が当たり前になってきた子どもたちにとっては、やってみたい、観てほしい気持ちが高まりました。「コロナ禍で会えていない祖父母と生配信で共有できた」、保護者から嬉しい声も聞かれました。

今回の運動会は、いろいろな選択肢や可能性に気づく、よい機会となりました。

アクシデントは学びのチャンス!

こいのぼりを掲げている旗立ボールが壊れてしまいました。それでも、なんとも泳ぐこいのぼりを子どもたちに見せたいと、ロープを張って吊るすことにしました。

子どもたちは、手を伸ばしたりジャンプしたり、こいのぼりの口をめがけてボールを投げたり、体をくねらせて泳ぐこいのぼりを間近に感じながら、思いきり遊んだら、自分の思いがいついつあったこいのぼりを作った友達と見せ合ったりしました。季節の行事でこの思いがけないアクシデントが、生活や遊びに潤いを与えてくれました。



こいのぼりに
手が届くよ

何かが始まる 明日につながる場所 四条こども園



ケロリンピックだよ

絵本をはじめ、様々なもの、人との出会いがかわり、重なり合うことで、遊びへの意欲や豊かな発想が生まれ、そこから夢になって考え、工夫し、遊びに没頭する姿へとつながっています。



おたまじゃくしが
やってきた

興味・関心から遊びへ

6月、おたまじゃくしがやってきて、遊びや生活の中に、おたまじゃくしやカエルがなくてはならないものになりました。

ちょうど異年齢でフラ板キールターを作ったことからフラ板作りがブームになっており、子どもたちは、フラ板でおたまじゃくしを作っていました。

また、園舎内をカエルになって跳び回ったりカエルの図鑑や絵本を見たり...。そんな様子を目の当たりにした学校司書の協力で、町立図書館からカエルの本をたくさん貸し出してもらいました。その中の冊が「ケロリンピック」です。

カエルたちの愉快なオリンピックの絵本に触れた子どもたちの遊びは、近づく東京オリンピックとも重なり、さらに深まってきました。

7月には、「四条ケロリンピック」を開催し、ゲームにチャレンジしたり、保護者や地域の方が見守る中、盆踊りやダンスを披露したりもしました。

絵本をはじめ、様々なもの、人との出会いがかわり、重なり合うことで、遊びへの意欲や豊かな発想が生まれ、そこから夢になって考え、工夫し、遊びに没頭する姿へとつながっています。



今日もいい日だよ

「お組になったら、放送ができるよ」と憧れたった当番活動。朝と午後の2回、自分の声がこども園や、風に乘って地域にも届いているかも、と思うと、ちょびりトキドキしながらの経験です。

出席ファイルを先生に渡して記入してもらうのも、当番の仕事です。この日も、いつものようにファイルの記入をお願いしようとしたが、めあての先生が見つかりませんでした。あちこち探し、友だちにも尋ね、やっとこの職員室までたどり着いて無事に記入してもらったことができた二人は、やり切った清々しい笑顔で、その後の放送も、はりきって行いました。

きちんとできることが大切なだけでなく、一人一人がどのように感じ、どのような向き合い方をしているかが重要です。迷ったり悩んだりしながら、友だちや先生の人の助けられ支えられながら、自分で考えて主体的に行動する子どもたちになってほしいと願い、子どもたちの日々を楽しんでいます。

ひまわり畑散策の前日、「こるるるるるを作ったよ」と飾つてくれた子がいました。そのおかげか、とてもよい天気になりました。翌日、「あめふればうすを作ろうかな」と言う子がいました。どうしてか尋ねると、「晴ればかりではいかんのや。雨もいるよな」家庭での会話や暮らしの中で、大切なことが子どもの中にいついつと、息づいているのを感じました。

今後、さらに家庭や地域とのつながりを深め、園生活が豊かになるよう取り組みたいと思います。



第13回 行政職から教育現場へ

教員として学校に勤務している者が、一時的に教育委員会の事務局やその出先機関に異動になり、行政職（指導主事・管理主事・社会教育主事など）として何年か勤務する場合があります。

今回は、そのような行政職を経てまんのう町の教育現場に戻った2名の先生の「声」を聞きました。

明るい学校、楽しい授業

12年ぶりのまんのう町。懐かしさと新鮮さを感じながら4か月が経ちました。理科や外国語活動の授業を通じて、子どもたちと一緒に学んだり、楽しく話をしたりと、充実した楽しい日々を送っています。

昨年度までの3年間は、香川県教育センターで勤務していました。そこでは主に、香川県の子どもの現状を調査、分析する仕事をしていました。子どもたちと直接かかわることはほとんどありませんでしたが、今の子どもたちが活躍する10年後の社会を想像しながら、よりよい授業づくりに向けて、指導、支援の具体的な方法を考えていました。

議論の中心は、「主体性」。

今は、目の前にたくさんいる子どもたちがいます。国語が好きで、運動が好きで、昆虫に興味がある子、絵が得意な子、話上手な子など、一人一人、得意なことや苦手なことは違います。あたりまえですが、だからこそまずは、子どもたち一人一人のことをよく知る「ことが大切だ」と思い、積極的に話しかけるようにしています。ある日、休み時間に教室におじゃまると、

「飼っている生き物を見て」と声をかけてくれた子がいました。見せてもらって、どのようにして捕まえたのか、えさをどれくらいあげているのか、ほかにとどんな生き物を飼っているのかなど、生き生きとした表情で熱く話してくれました。あつという間の10分間でした。

とても「主体的」。

他にもたくさんの子と話をすることで「主体性」を育てるためには、学習内容に興味を持たせ、分ける、できる、楽しい授業づくりをすることが大切であることを改めて実感しました。

できる限り多くの場面で、休み時間に話をしてくれるあの生き生きとした表情を見るのができるよう、努めていきたいと思っています。



仲南小学校 教頭 白川 章弘

生命力溢れる子どもたちの世界へ

現場に復帰して改めて感じたのは、学校には子どもたちの生命力が溢れているということです。教育行政は、教育に関する事案を文書で読み、対処することが多く、言わば白と黒の抽象の世界でも、それに対して学校は、授業や学校行事などの教育活動においても、子どもたちの生命力の輝きが表情や言動から具体的に見え、まさに原色の世界に戻った感がありました。このコントラストはとても大きなものでしたが、自分にとっては心地よく「や」と帰ってくる「ことができた」という思いを強くもちました。

1学期を通じて、子どもたちの輝きが最も感じられたのは体育祭でした。新型コロナウイルス感染症のため、昨年度は実施できなかったこともあり、開催に向けた子どもたちの思いは大変強かったです。連休明けから練習が本格化しましたが、子どもたちはそれに飽き足らず、自主的に練習するダンスの音楽が、休み時間や放課後も流れていました。

体育祭当日。しんどさを一番に口にする子が、最後尾にもかかわらず、真剣な表情で徒競走を走り抜く姿。登校班で低学年の歩き方をいつも穏やかに論じている子が、笑顔を振りまきながら生き生きとダンスする様子。徒競走のアナウンスの仕方に悩み、何度も練習して立派にやり遂げた子。一人一人の日常や背景を知り、頑張りや成長、その子のよさを見取ることができるのが、教師の醍醐味です。

こうした子どもたちの生命力の源泉は、「未来を生きる存在」にあると考えます。私たち教師は、子どもたちの人間形成にかかわることで未来に関与しているという使命と責任を忘れず、日々努めていかなければならないと思います。

どうか今後とも、本校の教育活動に対して、ご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



四条小学校 校長 佐柳 仁



琴南小2年生



四条小2年生

生活科では
地域を探検する学習があるよ



琴南小5・6年生



仲南小6年生

国営讃岐まんのう公園には
自然がいっぱい。
様々な体験ができます



里山を歩く



長炭小4年生

※ハーバリウム…ガラスの小瓶に花をオイル漬けしたもの



私たちが地域にひまわりを咲かせたよ

仲南小4年生



おそろいのリュックで、さあ出発！
仲南こども園児



おうい、アンパンマン列車！

長炭こども園児



大きな、タイサンボク

琴南こども園児



庁舎前ひまわり畑で種まき



ひまわり畑の草抜き



町内の清掃

vol.27 教育委員会だより

乳幼児期の保護者や担任からの相談で多いのは、「言葉が、なかなか出てこない」というものです。

言葉の発達については、子育て雑誌や子育てサイトなどで、次のように書かれているのをよく目にします。例えば、「1歳ごろまでは『あーあー』などの喃語が出て、1歳半ごろには『ワンワン』などの単語が出るようになる。2歳までには『これ、ちよーだい』などの2語文を話し始め、3歳までには3語文を話し、簡単なやり取り会話ができるようになる」といったものです。

しかし、これらの年齢段階は一般的で、平均的な一つの目安であり、どの子どもも、これらの時期にこのような言葉が必ず出るわけではありません。

特に乳幼児期は個人差が大きいので、決まった時に決まった言葉が始めることはありません。その子その子の性格や家庭環境によって、早くも遅くも遅くなったりするものはよくあると思います。

ところで皆さんは、「言葉」を話すことは誰でも簡単にできると考えていませんか。

実は、子どもが言葉を習得していくには、複雑な過程を経ることが分かっています。少し前まで、赤ちゃんは目が見えず、耳も聞こえないと思われていました。最近の研究では、生まれる前から音を聞き、出生直後

その1 「言葉」

早期支援教育センター「たむ」通信



※「たむ」では、子どもの様々な成長発達上のつまずきや困難にかかわる相談支援を行っています。その中で気づいたことや伝えたいことを、「たむ」通信」でお届けします。

でも見えていることが分かっていたのです。

生まれた赤ちゃんは、出生後しばらくは、どのような言語であれ、発音の区別ができるそうです。それは、赤ちゃんが、この国で生まれるかを自分で選べないためです。そして、生後の経験から、自分にとって必要な言葉に感覚が適応していくと考えられています。そして日本語に対する感受性が高まってくるのです。

視覚に関しても、同様です。出生後、猿の顔の違いさえも認識できていたのが、1歳ごろになると、自分が属する人間の顔の相違だけが分かるように、能力が特化されていくそうです。

これらのことは、脳の研究から、次のように説明することができます。

出生から8か月ごろまでの乳児の脳では、細胞同士をつなぐ腕から吸盤のような触手がたくさん出てきて、細胞同士のやり取りをよりスムーズにしている



気持ちいいね

しかし、1歳ごろからは、不要な触手がだんだんと消滅し、情報の効率的なやりとりができるようになっていくそうです。

このことを「知覚の刈り込み」といいます。乳幼児の中には、この「刈り込み」が遅れたり、うまく進まなかったりする子どももいます。その結果、言葉の獲得に影響する場合があります。聞こえたり見えたりしているのに、言葉の意味がつかめない状態にあるのではないかと考えられます。

残念なことには、「刈り込み」を促進するような効果的な方法は確立されていません。しかし、今までの相談を振り返ってみますと、言葉の獲得に変化があった事例もあります。

2歳を過ぎても「アンパンマン」など自分の興味のある言葉しか出ていない子どもに、子どもの興味・関心のある「もの」を大人が見つけ、子どもに合わせながら、その名前を使って話しかけるのです。そうすることで、だんだんと語彙が増え、やり取りが深まってきました。

このことから、その時と場で、子どもの興味・関心から出た言葉を大人が積極的に使ってコミュニケーションすることは、子どもの言葉の発達に非常に重要であることに気づかれました。



開くかな？開くかな？

(※写真と本文は無関係です)



満濃中学校剣道部 2年ぶりの 全国大会へ



■ 郡市総体 (団体の優勝・準優勝のみ)

■ 県総体 (3位まで)

■ 全国中学校体育大会出場



全国大会団体3位のなぎなた部 (個人2位宮本：中央)



(全国大会出場の剣道部)

■ 第29回全国中学生なぎなた大会

※ 紙面の都合で、郡市総体は団体の優勝・準優勝のみを掲載しました。

まんのう町小学生水泳記録会

入賞者

大型テレビに映し出されるレースを見て、拍手で応援

各種行事については、「コロナ禍＝中止」と機械的に決めてしまうのではなく、「現状において、どうするのが子どもたちにとって最善か」を考えて、実施の可否を判断するようにしています。水泳記録会は、児童一人一人が1学期の水泳学習の成果を試す貴重な場と考え、感染予防に十分配慮しながら実施することになりました。記録会当日は、様々な場面で感染予防のための工夫がなされ、例年とは違った形で運営が行われました。

7:22 (満濃南小学校にて)

力強く選手宣誓

25m バタフライ 5女①西岡実桜 (四條) ②近石暖日 (仲南) ③久保田志羽 満濃南 5男①大藪琥己 満濃南 ②司削 集 満濃南 ③田中修平 (四條)	50m バタフライ 6女①和泉花里 (仲南) ②亀山楓花 満濃南 ③白川陽葵 (仲南) 6男①白川稀章 (高篠) ②増田伊吹 (高篠) ③吉原知宏 満濃南	50m 自由形 5女①岡崎利愛 満濃南 ②諸川陽葵 (高篠) ③松葉南緒 (琴南) 5男①泉田凌佑 (長茂) ②吉原和良 満濃南 ③佐野史杏 (高篠) 6女①大岡香里菜 (仲南) ②近藤愛利 (四條) ③高市結実 満濃南 6男①石崎幸弥 (仲南) ②今井匠海 満濃南 ③今井琉晴 満濃南	50m 平泳ぎ 5女①岡崎綾音 (琴南) ②大貫桃木 (仲南) ③山地咲菜 (四條) 5男①櫛田寛介 満濃南 ②越智友晴 (四條) ③福家春人 (四條) 6女①山田麻央 (高篠) ②大東愛悠 (仲南) ③白川心晴 (高篠) 6男①福江結太 (高篠) ②砂岡利京 (琴南) ③竹下太基 (仲南)	100m フリーレール 5女①満濃南A 岡崎小松 福田丸尾 ②四條A 西岡大野 三野山 ③高篠A 正木 諸川 藤川 浦山 5男①満濃南A 大藪・池・司・吉原 ②四條A 長尾 大東 関越智 ③満濃南B 三井 吉田 澤村 竹内	100m フリーレール 5女①満濃南A 岡崎小松 福田丸尾 ②四條A 西岡大野 三野山 ③高篠A 正木 諸川 藤川 浦山 5男①満濃南A 大藪・池・司・吉原 ②四條A 長尾 大東 関越智 ③満濃南B 三井 吉田 澤村 竹内	100m メドレーレール 5女①四條A 山地 三野 西岡 大野 ②仲南A 榎原 横関 大貫 小松 ③満濃南A 種田 岡崎 丸尾 小松 5男①満濃南A 三井 櫛田 大藪 吉原 ②四條A 長尾 越智 関 大東 ③四條B 中浦 福家 田中 森本	100m メドレーレール 5女①四條A 山地 三野 西岡 大野 ②仲南A 榎原 横関 大貫 小松 ③満濃南A 種田 岡崎 丸尾 小松 5男①満濃南A 三井 櫛田 大藪 吉原 ②四條A 長尾 越智 関 大東 ③四條B 中浦 福家 田中 森本	100m 個人メドレー 6女①久保田咲 (満濃南) ②黒木佳菜 (仲南) ③藤本 怜 (仲南) 6男①藤本 怜 (仲南) ②濱野生光 満濃南 ③山下哲進 (琴南)	50m 背泳ぎ 5女①正木瑠子 (高篠) ②三野七瀬 (四條) ③細木響音 (仲南) 5男①長尾瑠生 (四條) ②三井拓未 満濃南 ③桃田琉羽 (仲南) 6女①森本彩那 満濃南 ②栗田美夕子 (高篠) ③黒木佳菜 (仲南) 6男①藤本 怜 (仲南) ②濱野生光 満濃南 ③山下哲進 (琴南)	50m 個人メドレー 6女①久保田咲 (満濃南) ②黒木佳菜 (仲南) ③藤本 怜 (仲南) 6男①藤本 怜 (仲南) ②濱野生光 満濃南 ③山下哲進 (琴南)
---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	--

第51回香川県少年水泳競技大会

8・8 (香川県立総合水泳プールにて)

6年男子100m平泳ぎ 1位

〃 50m平泳ぎ 1位

高篠小学校 福江 結太



今月の一枚

麦わら帽子と夏の思い出

四条こども園

編集後記

『いのちをいただく（みいちゃんがお肉になる日）』（講談社）という絵本があります。助産師として働く内田美智子さんが、食肉加工センターの坂本さんの話に感動してつくった絵本です。

牛のいのちを解く（殺すこと）とき、牛と目が合う、そのたびに「いつかこの仕事をやめよう」と思っていた坂本さん。ある日、みいちゃんと名付けられた牛が、女の子に付き添われ運ばれてきました。牛の腹をさすりながら懸命に謝る女の子を目の当たりにして、「もうできません。明日は休もう」と心に決めた坂本さん。そんな坂本さんに、息子のしのぶ君がかけた言葉が心に響きます。——やっぱりお父さんがしてやってよ。心の無か人がしたら牛が苦しむけん——

食べることは「いのち」をいただくこと…普段の食事では忘れてしまっているそのことを、その重みを、改めて思い出させてくれる一冊です。（この絵本は、町立図書館にもあります）

さて、学校給食は、明治22年、貧困家庭の児童に無料で昼食を提供したのが始まりとされています。それから130年余りが経った今日、国民の生活水準は向上し食生活も豊かになったと言われますが、果たして本当にそうなのでしょうか。

一家団欒の食卓が減少した今、子どもたちには、一人

で食事をする「孤食」、自分の好きなものしか食べない「固食」など、6つの「こ食」に象徴される食の乱れがあるとされています。また、ファーストフードやインスタント食品の普及が進んで食事が手軽で便利になった反面、商品化されたそれらの食事からは、食材を作った人や調理した人の顔は見えにくくなりました。栄養のアンバランス、肥満、貧血、疲れ、集中力の欠如など、現代の子どもたちは「食」に起因する様々な問題を抱えているのです。

「食えること」は「生きること」です。ですから、子どもたちには生涯にわたって健全で豊かな食生活を営んでいける力を身につけてほしい。様々な問題を抱える今の時代には、「食」について学べる環境を意図的に設定し、「食育」として取り組んでいく必要があるのです。

学校給食では、地産地消にこだわった安心・安全な食材、栄養のバランスに加え旬の食材や郷土食にも配慮した多彩な献立、食材やその生産者の顔が見える分かりやすい情報提供など、栄養教諭が中心となり豊かな食育が行われています。

食はいのちをつなぐもの。今日も食事ができることに、感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

（Y. T）

表紙絵：東山 正章（元満濃中学校長）

次号予告
（12月1日発行）

特集

こども園—広がる豊かな遊びの世界

園・学校ウォッチング

琴南小学校・満濃南こども園

発行責任者：まんのう町教育委員会

〒769-0313 香川県仲多度郡まんのう町生間415番地1

TEL (0877) 89-7100

FAX (0877) 89-8100